

天皇后両陛下行幸啓記念御製碑建立 新冠ライオンズクラブ

11月26日、役場庁舎前に天皇后両陛下行幸啓記念御製碑が建立され、除幕式が行なわれました。

碑は天皇后陛下の御製が刻まれた御製碑と建立趣旨を記した副碑の2つでライオンズクラブ国際協会331-C地区 新冠ライオンズクラブ（川又敏英会長）によって建立され、町に寄贈されました。

記念御製碑建立は、新冠町に戦後まで御料牧場があり、古くからこの地が皇室とゆかりのある地であることと昨年、天皇后両陛下が初めて日高地方に



行幸啓されたときのことを後世に伝えたいという関係者の熱意で実現しました。除幕式では、川又会長が「昨年のあの感動をこうして後世に伝えることができるのは無上の喜びです。」と挨拶し、除幕が行なわれました。

福祉に役立ててほしいと

チャリティーコンサートを開催

11月5日、レ・コード館でチャリティーコンサートIN新冠が開催され、会場に設置された募金箱に集まった収益金が社会福祉協議会に寄付されました。

収益金は大森定明実行委員長から「福祉に役立てて下さい。」と宮坂義潔会長に手渡されました。



宮坂会長も「このようにな素晴しい事業を行なうたいただき、大変感謝しています。」と謝辞を述べました。

音楽創造体験事業で校歌を録音

明和小学校

11月28日から30日までの3日間、明和小学校、若園小学校、節婦小学校の3校で昭和音大の講師、益田トツシユさんを招き、音楽創造体験事業（新冠町教育委員会主催）が行われました。

平成20年4月の小学校統合を控え、町内全ての小学校の校歌を児童自ら歌って録音し、CD化する音楽創造体験事業。昨年に引き続き今年で2年目となります。

明和小学校で行なわれた音楽創造体験事業では校歌のほか、「夢の世界」、益田トツシユさんが書き下ろした「僕らの小学校」の3曲を録音しました。録音では、良い音源が録れるまで、何回も録り直しを行い、子供たちも最後は疲れた表情を見せていましたが、上級生と下級生がひとつになつて歌い上げました。



録音されたCDは学校と子供たちに配布されるそうです。今から楽しみです。ね。

題

あれこれ

小竹町長がトップセールス 定住・移住PRで企業訪問

11月19日から22日の4日間、新冠町をPRし、定住・移住や学校跡地の活用につなげようと関西方面への企業訪問を行いました。

企業訪問は、昨年の首都圏、札幌圏に引き続き今年で2回目。

今回、企業訪問を行なったのは、新冠町定住移住促進町民会議の委員2名と町定住・移住プロジェクトチームの2名の計4名で、2グループに別れ、大阪、京都、名古屋市内の企業を中心に24社を訪問し、新冠町をPRしました。また、21日からは小竹町長も合



流し、名古屋市内の企業を訪問し、トップセールスを行ないました。訪問した企業では、早速、新聞掲載や社内告知をしていただき、既に数件の問合せも来ています。今回の訪問は、関西圏で知名度の低い「新冠町」を知ってもらう良い機会となりました。

ま ち の 話

ご寄付ありがとうございます

チャリティー募金を町へ

11月12日、株式会社伊藤商会の伊藤光治代表取締役が小竹町長のもとを訪れ、「社会福祉に役立ててほしい」とチャリティー募金の収益金を寄付されました。

チャリティー募金は指定工場許認可落成を記念して、11月9日、10日の2日間行なわれ、1台三百円でオイル交換を行い、チャリ



ティー募金を募ったところ、多くの方が趣旨に賛同し募金していたそうです。本当にありがとうございます。

楽しいひとときを過ごしました ふれあい年越会

12月13日、本町多目的ホールで町内に住む70歳以上のひとり暮らしのお年寄りを対象に「ふれあい年越会」が開催され、79人の方が参加しました。

ふれあい年越会は毎年、新冠町社会福祉協議会（宮坂義潔会長）が主催し、歳末たすけあい募金で行っています。

年越会では、遠方の参加者の送迎を新冠ライオンズクラブ（川又敏英会長）の方々が担当し、ボランティアグループあゆみ（小林リエ子会長）の皆さんが作った料理でおもてなしをしました。

また、新冠保育所の年長さんたちがおゆうぎや器楽演奏を披露しました。



子供たちの元気がかわいらしい踊りや一生懸命演奏する姿に参加した皆さんも笑顔で鑑賞し、楽しいひとときを過ごしました。年越会は皆さんの善意で運営されています。今後もご協力をお願いいたします。